








## わくわく集会 ～生活委員会～




今日14日(木)のわくわく集会は生活委員が発表しました。まず、生活委員会の常時活動について教えてくださいました。

仕事その①は、あいさつ運動です。あいさつ運動は月・水・金曜日の7時45分から55分までの間に正門や緑門に立って行っています。あいさつ運動をしていて嬉しかったことは、いろいろな人がボランティアとしてあいさつ運動に参加してくれることと、大きな声であいさつを返してくれる人が多くなったことだそうです。生活委員会の皆さんも、いろいろな工夫を重ねて、今ではたくさんの方が参加できるようになったそうです。そして正しいあいさつの仕方を教えてくださいました。「あ・い・さ・つ」の「あ」は「いてを見て」、「い」は「つでも」、「さ」は「いてよりきに」、「つ」は「ねに笑顔で」という4つのポイントです。ポイントに気を付けてあいさつをすることで、する方もされた方も気持ちがよくになります。そして、4つのポイントができてきているあいさつ名人を紹介してくださいました。確かに、あいさつ名人を見ることで心が晴れやかになりました。

仕事その②は、雨の日のパトロールです。雨の日の昼休みに、黄色いたすきを掛けて校内をパトロールし、室内で安全に過ごすように全校のみんなに呼び掛けてくれています。そして、雨の日パトロールの五七五も「雨の日は 静かに過ごす 昼休み」と披露してくれて、雨の日の過ごし方の意識を高めてくれました。

仕事その③は、生活目標を守ってくれるための動画づくりです。動画づくりの工夫として、テーマやキャラクターを付けて動画づくりを行っていることです。面白くて分かり易い動画を作れるようにこれからも期待しています。

また、「廊下歩行五七五」の共通理解を行いました。これは、昨年度からの引き続きの実践です。例えば、廊下を走っている人がいたとします。その人に「廊下はね…」と問い、走っている人が「静かに右を歩きます」と答え、歩くまで問い続けるというものです。このアイデアは、廊下を走っている人に注意するのではなく、自然と気付かせる行為となるので帯西の素晴らしい文化になってきていると実感しました。

感想交流では、1年生の子供が「『帯西グリーン』の心が伸びました。みんなとちゃんと話が聞けたからです。」と述べ、3年生の子供は「『帯西イエロー』の心が伸びました。あいさつ運動をボランティアでしている人がいることがわかったからです。」と述べ、5年生の子供は「『帯西イエロー』の心が伸びました。生活委員会さんが、雨の日を静かに過ごすために、新しい五七五を作ってくれたからです。」と述べていました。

最後に生活委員長の川崎さんが「皆さんがちゃんと僕たちの発表を聴いてくれて嬉しかったです。これからあいさつ運動をしているときは、あいさつを返してもらえると嬉しいです。」と答えていました。

生活委員会の皆さんの活動は、帯西の子供たちの生活創りに日頃から尽力してくれています。これからもその活躍を楽しみにしています。

